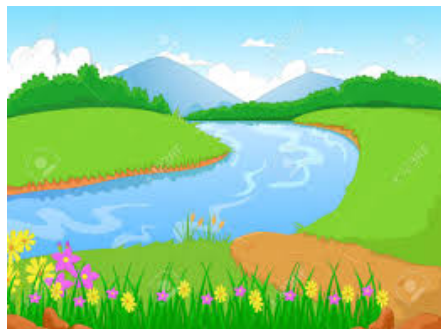




阿下喜楽



～員弁川の川替について～

～川チーム～

目的

員弁川の歴史を知る。

疑問

- 一つ目：なぜ川的位置が変わったのか
- 二つ目：どのように変えたのか
- 三つ目：変わる前のものは何か残っていないか

年表

川替え工事開始！

年	出来事
1650年	雨が降り続け、川があふれ町が川のようになった。
1683年	田切川と飯倉川の両方から押し寄せた水は、鎌田川の堤防を突きくずし、川の両側とも田畑が消失。
1685年	堤防決壊以来2年ぶりの工事完成
1700年前後	今もある堤防が築かれた

員弁川の変化

石灰岩の崖を利用



石灰岩の崖を使うと

良い事

どんな激流が押し寄せようと、崖が流出する心配がない

崖そのものが堤防の役割になる。

労力を一本の堤防に集中させることができる。

まとめ

- ・員弁川の位置が変わった。
- ・大きなきっかけは、1650年と1683年の大雨。
- ・員弁川の位置を変える工事では、約3千人の人手と、石灰岩の崖を使った。
- ・工事で利用した崖は堤防の役割を果たし、工事の負担を減らすことができた。

感想

- ・最初はただただ替えただけだと思っていたら、崖を利用していたり3000人の人手を使うなど普通に生きていたら知らなかったことを色々知れたので良かったです。
- ・最初はいろんな謎があって一つ一つ探していけばいいみたいな軽い思いだったんやけど、でも結果としては「誰が何を言っていたのか？」など一つのことに対してよく考えられて良かったです。
- ・いなべ川の位置が替わっていたことを知らなかったのも、洪水をくり返さないために位置が替わったと知っておどろきました。